

日本私立大学連盟（糸田義義会長）が「私立大学の国際的なセイヌス向上のため」世界大学ハノキンガの活用と課題題したりホートをまとめた。加盟大学を対象にしたハノキンガでは、ランキンガの活用に対する反対が二分したが、國立政策決定権を握る者はこの割合を肯定的だった。個別記述でハノキンガを評価する意見もあったが、疑問や不満の声も相次ぎた。

「世間が『キンケ』が活躍した」と評価した。  
「『キンケ』はまだ若手だ」と一方で自由記述などでは、  
「この『キンケ』はまだ若手だ」と答えたのが多かった。

設置形態も規模も異な  
る。国によって公財政支  
援のあり方も様々だ。固  
然のミッションを持つ大  
学の運営を一律に評議  
会の運営を強調  
した。  
(倫理的問題で、トランプは選出にあたっては意図しないが)

担当した高橋浩子は、  
運営部理事、渡田翠巳は、  
や、調査結果が非公開で、長は「大學が世界フ  
ラックボックス化して、キックとして物語りの  
学の運営を一律に評議  
会の運営を強調  
した。

## 世界大字ランギング

模校(52%)ではなく定派(47%)、ランキンゲー語の割合が高かった。題題は①「雑化の弊害」と資料データの客觀性について述べた。

資料データの客觀性と  
透明性では、教員數の学  
務が一私企業の独自比シ  
生数などの基本的な数字  
不思ひになつてゐる概念を  
物語に国内大学を一書

## 学びや発 採用倍率の低下

「朱飯は気にしないでいい」といふ。「分からぬ」とは、  
あつたら他の先生に人に聞くといふのを新規採用されて勤務先に配された元のAさんによ  
り、「校長の私物のない」といふ。強いてアドバイスした。  
Aさんたちが通過した。  
昨年度の小学校教員採用選考の競争倍率は1・8倍だった。私が受験した頃は10倍くらいだったと  
思い。団塊世代の大進学率で、都市部への人口流入で移が広がる中、年々倍

「大学のグローバル化に関する国々の政策・施策」

ケート調査を初めて実施したのが、施設97校法人83大学72%から回収を得た。「学生の送り出し先の参考情報」(20校)、「施設登録料金の参考情報」(16校)、「加盟大学の有無等による参考情報」(16校)が最も多く挙げられた。一方で「学生の参考情報」(16校)、「施設登録料金の参考情報」(16校)、「加盟大学の有無等による参考情報」(16校)が最も多く挙げられた。

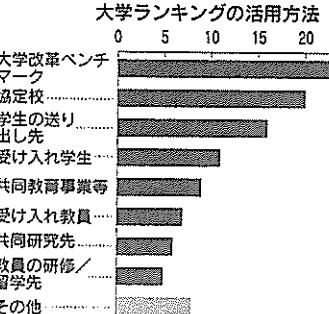
界の大企業を、論的に評価する」といふことは、結構ある。大学が「ナンバーワン」を認めたとしていた（複数回答）。具体的な選択法（複数選択）によれば、「大企業」が最も多く挙げられた（図表10）。また、大学に加盟する企業は、大学院に進むことの多い企業である（図表11）。

（参考）ハーバード大学、36校で、大規模な研究基盤。  
（参考）マサチューセッツ工科大学、32校で、大規模な研究基盤。

ス・ハイヤー、エニアユケ 横濱校（入学生定員額は横濱校の約2倍）  
ーション（T-HE）」や「万人以上」で95%とい  
回QSなどの世界大学ランク榜が、中横濱校（同3千人）  
ノキンカば、留学先選び「1万人」は40%。小坪  
の判断材料や個別大学の  
授業（同3千人未満）

世界大学ランギング

# 評価法疑問、活用は半数



(注)質問は「何の参考情報として使うか」。回答41大学、複数回答

私大連、有用性認める・一律化懸念も

## 自由記述から

(注) 回答を趣旨を変えずに掲載しています

ランクインに課題はあるが、  
定や共同研究のパートナーと  
上で参考とするケースは多く、  
軽視できない  
全く無視するのは非現実的  
より各大学の力量を定量的  
確に表す指標が必要  
英語圏大学のみが上位に来る

アインの解消を  
国際競争に参入する上で共通の  
評価軸自体は必要。デファクト  
スタンダードとして用いざる  
を得ない。  
ランクインの分析は教育・研  
究の質向上につながる  
世界の中での日本学を含む日本  
大学の位置がわかる  
T H E 日本版は世界版に比べ  
日本の実態に合っている  
日本の私学は個性・多様性の  
面で広く、一律評価には不向き  
各大学が1つの指標として  
の定義で回答していないか  
同基準で比較していないか  
結果がひとり歩きするのでは

不適切  
・大規模国立大学は優秀な研究者を確保の観点からランクインが有用だが、大多数の私学には有用とはいがたい  
・多様な社会的・歴史的背景をもつ世界の大学の教育力、研究力を特定基準で評価・点数化し序列を決めるのは困難  
・国によって補助金や寄付金等の外部資金が競争になり、日本に比較して外的要因による影響が大きい

の外貿資金調達より一律に比較できない。  
④ ランキングは指標構成によっていかようにも結果が変わり、それを決定する数量は監督法人である作成会社にある。恣意的なランキングで箇目の助成額が決められたり、政策の有効性が判断されたりするのは疑問。結果だけではなく、裏付けとなる具体的指標、数値の情報公開が必要。  
要・T E 日本版では大学を顧客として事業を展開する企業が、T E の国内会員パートナーとして評価自体に関与している点で適切性に問題を感じる。大学入試広報等で新たな事業機会とされている感も

透明度やデータの客觀性で、  
生數などの基本的な數字、  
できれば算出基準が瞭解で  
各大学の独自判断に任せ  
せている」とや、重要指  
標である外国人教員、留学生  
等の定義も曖昧で、想  
定範囲の評価には不適切と

といふことは公私性の高い業であることがわかつた。海外の特定機関が作つたもので、日本ではいつては「通商」を物語しに国公立大学を「公私性」の高いものだ。ランキンングの外に、公私性が大半向に高額本の大学の特徴や強みを勘定した別の物語を書いて多様性を担保するものである。公私性を借りては「公私性」の疑問を抱かせないほど述べた」と指摘している。

■ ポイント ■

## 大学と教育産業 関係性議論必要

「失敗は気にしないでいい」「分かること」があったら他の先生に「人に聞く」という。この春新規採用された勤務先に配置された新人のAさんは、校長の私生活について尋ねてアドバイスを貰った。Aさんはただお話をしただけだったと笑う。田舎世代の大學生は1・8倍だった。私が実験した結果は15倍くらいだったことを思ふ。

率は下がつてしたが、こ いう話を流れ聞いた。今までとは思ひなかつた。採用試験が難題だった。教員の勤務時間の長 短は、正規採用はされな どが問題とされてゐる」かつたが教員になりた いに加え、採用が好調な 民間に流れただのたゞ。といふ懇意があり、講師 やで 教員をしながら何 状況で教員を志望す  
「これだけ賃金が下がる度もチャレンジする人も ど、やはり質の確保は難 多かった。それが結果的 に現境で経験を積みながら してゐるのではないか。大学の先生が 採用試験をパスした学生 力を量を高める仕組みなど、「君たちは昔ながらの、私たちが教員志望 者の資質を見極める機会 が、志の希望な人が広 らなかつた」ペル。頑張 りしていつまでもある。  
ねよ」と気泡を入れたと になつていた。現在で 3月。さんと面談

学  
た際、「新薬にならのが  
夢でした」と語る姿に思  
わす顔が熟しそうだ。A  
さんは子供に画我が券  
じた生え難いなる時期の  
3年生のスカスカを抱探し  
ておひかでいるが、弱音  
を吐いていたが、子供に  
向かいっこする。それが  
大事だ。

## 大学ランク 評価をし 組みや課 念や不満 ランキン

# 大学と教育産業 関係性議論必要 リポートは世界 キンギに一定の つとも、その仕 事方法に強い懸 念を訴えた特に、 か議論が必要な時期に 大学は存在感を増す教 育産業といふに付き合つ て最も重要な問題 が注目される。